



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北11西24 新築工事	階数	地上5F
建設地	札幌市中央区北11条西24丁目1-2, 1-3, 1-4	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	392 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,物販店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2015年3月30日
敷地面積	3,562 m <sup>2</sup>	作成者	小山内
建築面積	1,525 m <sup>2</sup>	確認日	2015年4月1日
延床面積	7,218 m <sup>2</sup>	確認者	軍司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超:☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>敷地面積が3,000m<sup>2</sup>を超え、建物自体が7,000を超える事から地球温暖化対策Sカウに重点をおき設計しました。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準を満たした断熱性能を確保しています。</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>除排雪の為の経路確保に駐車場出入口を各道路面に設けています。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>「雨水流出抑制に関する指導要綱」の必要対策量を満たす施設の設置を行います。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>「札幌市緑の保全と創出に関する条例」を採用し基準を十分に満たしています。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される